



第32回ITU-D電気通信開発諮問委員会 (TDAG-25) の結果概要

総務省 国際戦略局 国際戦略課

ー概要ー

TDAGは、年1回開催されるITU-Dの諮問委員会。ITU-Dの優先事項、戦略、運営、財務事項や世界電気通信開発会議 (WTDC) の行動計画の実施等について検討し、電気通信開発局長に助言を行う。議長をMs. Roxanne McElvane WEBBER (米国) が務める。

2025年5月12日 (月)～16日 (金) に、スイス国ジュネーブ (ITU本部) 及びWEBでのハイブリッドで開催された今会合では、2025年11月のWTDC-25に向け、各地域*における準備会合 (RPM: Regional Preparatory Meeting) の結果報告及びWTDCへのTDAG報告の取りまとめも実施した。約30か国等、約200人が参加し、我が国から、総務省国際戦略課成瀬国際交渉専門官、SG副議長のNICT今中氏・NTTドコモ 大槻氏等が参加した。オープニングプレナリには、ボグダン事務局長、尾上TSB局長も参加し、それぞれスピーチした。

1. キガリアアクションプランの実施状況報告

WTDC-22で策定した行動計画について、事務局が実施状況を報告した。これに対し、フロアからは、プロジェクト対象国からの感謝や、民間セクタからの参加増を評価する発言があった。それとともに、成果の評価や見せ方、予算管理などの改善のための意見があり、事務局が既存のダッシュボードを紹介した。

2. 地域イニシアチブの実施状況報告

キャパシティビルディングを始めとするプロジェクト等、各地域で実施されている案件について、BDT局長・TSAG議長と各地域事務所長がパネル形式で議論した。アフリカ地域事務所がプロジェクト実施におけるT、Rセクタとの連携、また、アラブ地域事務所がスマートシティのITU-T勧告適用のためのプロジェクトを報告した。

3. Innovation and Entrepreneurship Allianceの活動報告

地域のイノベーションの促進などの環境整備のためにBDTが設置したアライアンスについて、事務局が活動状況を報告した。総務省は、本アライアンスに対して2023年3月に提出するとともに、アライアンスが設置したDigital Innovation Boardに総務審議官が参加し貢献している。事務局から、総務省拠出金によるプレイブック (各国・地域に設置されるセンターが活動で参考にする文書) 作成に言及があり、日本からプレイブックの活用と他セクタとの更なる連携に期待する旨コメントした。

4. SG活動報告

SG1、SG2それぞれの今会期の活動の報告書が紹介され、多くの出席者からSGマネジメントやBDTなどへの感謝が述べられるとともに、成果のより広い活用を求めるコメントや、会期中に開催されたワークショップを評価するコメントがあった。各SGの報告書はWTDCに入力される。

5. ITU-Dプロジェクトに関するBDTの改編

BDT局長がBDTの組織改編を説明した。具体的には、ITU-Dプロジェクト進捗の遅延を改善するため、全職員を訓練し、調達マニュアルを作成する。さらに、プロジェクトを実施する部署とは別に、評価とモニタリングを実施する部署 (PPS: Projects, Partnerships & Digital Skills)、プロジェクト管理とドナーへの報告を担当する部署 (PPI: Projects Programme Implementation) 等を設置する。

6. ユース (若者) のためのイベント

事務局が、2025年3月にキューバで開催されたGlobal Youth Summitを報告し、WTDC-25開会前日に開催予定のイベント (Global Youth Celebration) を説明した。後者は、成果文書は出力せず若者の視点でWTDC-25を活性化することを目指すとの情報のみだったため、日本から具体的なアジェンダ等詳細の早期の共有を求めたところ、事

* ITU地域: アフリカ、アメリカ、アラブ、アジア太平洋、ヨーロッパ、CIS



事務局からプログラム案が示された。(会合後に得た情報では、プログラム案は引き続き検討されており、変更される見込みとのこと。)

7. WTDC-25に向けた準備

7.1 地域準備会合 (RPM) 報告

各地域のRPM代表がそれぞれの検討状況を報告した。各RPMは今後も開催予定があり、WTDCへの対処は更に検討される。

7.2 TDAGの各WG報告

WTDC-25に向けた検討のためにTDAGに設置された4つのWGからそれぞれ報告があった。WG報告は、WTDCに入力されるTDAG報告のAnnexとなるが、検討のための参考資料の位置付けである。WGが作成したWTDC出力文書案はWG内でも合意に至っておらず、今後もRPM等で議論される。

各WGの報告概要は以下のとおり。

TDAG-WG-SR : WTDC決議の整理

PP決議と重複する箇所の削除などを提示

TDAG-WG-futureSGQ : 次会期研究課題

2SG・各SGに5課題とし、各課題のタイトル案を作成

TDAG-WG-DEC : WTDC宣言

バクー宣言のタイトル案に合意し、宣言案を作成

TDAG-WG-ITU-DP : ITU-Dの優先事項

バクーアクションプラン案を作成

7.3 リモート参加

欧州複数国の共同提案として、WTDC-25のリモート参加に関する情報の随時の共有を求める意見が出され、BDTから準備状況が説明された。30人収容～1,500人収容の全5部屋でリモート参加を提供する予定、ドラフティング用小部屋での対応は難しいとのこと。

なお、今回初めてジュネーブの会合に物理参加したサモアは片道3日間かかったと発言した。

7.4 米国寄書 (WTDC-25に向けた米国の初期見解)

米国が、1) ITU-Dは本来のマンデートである接続性向上に立ち戻るべき、2) SDGsやDEIに取り組むことは支持できない、とする寄書を入力した。フロアからは、1) への支持や2) への反論を中心に、多くのコメントが出た。寄書はnoteされた (内容についての合意などは無し)。米国は各WGの議論でも同様の趣旨を主張し、WG報告書に記録された。

8. 今後の予定

WTDC-25に入力するTDAG報告書は、今回合会後30日以内に修正され、メンバからのコメントを2週間受け付ける。その後、Annexを含めた最終版がWTDC-25に入力される。

2025年7月14日～18日 (タイ)	APT 第4回WTDC-25準備会合 (WTDC25-4)
2025年7月14日、15日 (リモート)	第1回WTDC-25地域間準備会合 (IRM-1)
2025年9月15日～19日 (タイ)	APT 第5回WTDC-25準備会合 (WTDC25-5)
2025年9月29日、30日	第2回WTDC-25地域間準備会合 (IRM-2)
2025年11月16日 (アゼルバイジャン・バクー)	Global Youth Celebration
2025年11月17日～28日 (アゼルバイジャン・バクー)	WTDC-25

9. おわりに

今回は今次研究会期における最終会合であり、最終日のブレナリでは、TDAG議長 Ms. Roxanne McElvane WEBBER (米国)、SGI議長 Ms. Regina Fleur Assoumou BESSOU (コートジボワール) をはじめとする、2期目の任期を終える役職者への謝辞が続いた。

WTDC-25に向けた議論もされたが、各地域やメンバの間での意見の隔たりが大きい項目もあり、引き続き地域会合等で議論されていく。WTDC-25では合意文書が策定できるよう、我が国の立場を反映しつつ、貢献してまいりたい。